

石川結貴講師プロフィール 児童虐待・貧困などをテーマにした講演用

石川結貴(いしかわ・ゆうき)

ジャーナリスト

家族・教育問題、青少年のインターネット利用、児童虐待、介護などをテーマに取材。豊富な取材実績と現場感覚をもとに、多数の話題作を発表する。

貧困や虐待環境に置かれながら社会的に見棄てられる子どもの実態を描いた『ルポ 居所不明児童～消えた子どもたち』、『ルポ 子どもの無縁社会』などの著作は大きな反響を呼んだ。

出版のみならず、専門家コメンテーターとしてのテレビ出演、全国各地での講演会など幅広く活動する。

2015 年「日本子ども虐待防止学会新潟大会」(JaSPCAN)、「子ども虐待防止フォーラム」(厚生労働省)、2023 年「日本 PTA 連盟全国協議会広島大会」(日本 PTA 連絡協議会)など、大規模集会での講演者に選出されている。

2024 年には第 55 回大宅壮一ノンフィクション賞の最終候補者となった。

日本文藝家協会会員



【主な著書】

『ルポ 居所不明児童～消えた子どもたち』 筑摩書房

『ルポ 子どもの無縁社会』 中央公論新社

『誰か助けて～止まらない児童虐待』 リーダーズノート

『愛されなかった私たちが愛を知るまで』 かもがわ出版
など多数



【主なメディア出演】

NHK 「あさイチ」「ニュースウオッチ 9」

日本テレビ 「ニュースプラスワン」

TBS テレビ 「ひるおび」

フジテレビ 「バイキング more」

テレビ朝日 「ワイド! スクランブル」「報道ステーション」



TBS「ひるおび」

【主な講演テーマ】

演題「孤立と虐待のない街づくり～傷つく子どもを支えるためにできること」

⇒人権擁護・地域福祉・行政関係者研修・民生委員児童委員研修、市民向け講座など。

Zoom 等を利用したオンライン講演にも対応しています。

【講演概要】

少子化が進行する一方で、全国の児童相談所が対応する児童虐待件数は約 22 万件(2022 年度)と過去最多を更新しています。

殴る、蹴るなどの身体的虐待だけでなく、子どもの前で生じる夫婦間暴力による心理的虐待(面前 DV)、劣悪な生活環境に置くネグレクト(養育放棄)も増加。しています。

児童虐待＝「子どもがひどい目に遭っている」、そんなイメージを持たれやすいですが、実際にはおとなになってからもさまざまな問題が継続し、被害者の一生に深刻なダメージを与える場合も少なくありません。

安心して過ごせる居場所がない、親を頼れない、不安や恐怖が常態化している、そうした子どもにとって「助けを求められる場所」が、ネット(SNS)に集中しているのも現代の特徴です。

近隣関係が希薄化し、特に都会では地域住民が気軽に子育て家庭に関わることがむずかしくなっています。親の孤立化が加速し、情報化がもたらす「子育て比較」などもプレッシャーになり、子どもに対する怒りや苛立ちを招いています。

「隣の家で何が起きているのかわからない」、「まわりに虐待被害を受けている子どもがいても関わりにくい」、そんな状況下で、私たちには何ができるでしょうか。

子育てを取り巻く環境が激変する今、具体的にどうすればいいのか、まずは現状を認識しましょう。

さらに、行政主導の子育て支援や虐待防止対策だけでなく、私たち一人ひとりにできる取り組みを考えるために、各地の最新事例などを紹介。子どもの命を守り、親子の生活を支えるための具体的な情報提供をしていきます。



演題「子どもたちの見えざる貧困～ネット社会で潜在化、深刻化する現状について」

⇒人権擁護・地域福祉・行政関係者研修・民生委員児童委員研修、市民向け講座など。

Zoom 等を利用したオンライン講演にも対応しています。

【講演概要】

子どもの 9 人に 1 人が貧困状態にあると報告され、近年、「子どもの貧困」は大きな社会問題として注目を集めています。

一方で「いかにも貧しそう」という子ども、たとえばボロボロの服を着ているとか、まともに食事もしていない様子とか、従来の貧困のイメージに合うような子どもは見当たらず、「いったいどこが貧困なのか?」と懐疑的に思う人も少なくありません。

実際、子どもの貧困は外から見えにくく、だからこそ問題が深刻化しやすいという特徴を持っています。

一口に貧困と言っても、経済的な貧困だけではありません。ネグレクト(養育放棄)等による愛情の貧困、親族や近隣、行政などと断絶する関係性の貧困、正しい情報や社会的経験を持たない機会の貧困など、多方面にわたって問題を抱える子どももいます。

また、親の病気(精神疾患など)や障害によって経済的に困窮する家庭では、単なる貧困問題にとどまらず、子どもが親の世話を担いながらも、反面ではその親から虐待されてしまうといった複雑な状況も生じています。

さらにネット社会の今、貧困や家庭崩壊などの問題を抱えた子どもをターゲットにするあらたな問題も急増しています。SNS 上で「お金をあげる」、「助けてあげたい」、そんな甘言で子どもを引き寄せ、性的被害を与えたり、犯罪に加担させたり、ビジネスとして利用しようとするのです。

潜在化、そして深刻化する子どもの貧困問題について実態を報告し、具体的な対応策、あらたな取り組みについて考えていきましょう。

演題「親子が笑顔で向き合う子育て」

⇒子育て支援、地域福祉、民生委員児童委員研修、市民向け講座など。

Zoom 等を利用したオンライン講演にも対応しています。

【講演概要】

近年、「スマホ育児」という言葉が使われ、育児用のアプリや子育て情報サイトを活用する保護者も増えています。

便利なアプリで子育ての負担が軽減される反面、膨大な情報に翻弄され、かえって追い詰められるようなケースもあります。

たとえば SNS では、子育てに関する多数の投稿が「比較」につながりがちです。他者の成功や幸せアピールを目にすると、「うちの子はダメなのでは?」、「私の子育ては大丈夫だろうか?」と不安が高まったりするのです。

一方、子どもの日常にも大きな変化が表れています。幼少期からのインターネット利用により、幼児や小学生がゲーム、動画視聴などに夢中になっています。親子が直接的に触れ合うのではなく、スマホを介してつながるような生活では、子どもの心身の成長にあらたな問題が生じる可能性もあります。

どうしたら親子が笑顔で向き合えるのか、そのためにどんな支援策が必要なのか、複雑化する子育て環境の現状と併せ、真に豊かで幸せな子育てとは何かを考えてみましょう。

※その他の講演テーマについては個別にお問い合わせください。

※講演会の開催が確定されている方は、別紙の「講演会開催についての注意事項」をご覧ください。

※ご要望やご質問がある方は、下記までお気軽にご連絡ください。

石川結貴・連絡先

Ishikawayuki.yes@gmail.com

GZR03212@nifty.com

講師の電話番号や住所は、講演会を正式にご依頼いただいた際にお知らせします。